



吉岡和江  
教育福祉常任委員



高野洋一  
副議長  
総務常任委員



武野裕子  
建設常任委員

## 市役所 深沢 移転は 決まっています

**市役所移転 行政が整備基本計画 策定 決定には条例の議決が必要**

9月議会では、市「画案」の報告は「聞役所移転の正式な根拠となる『位置条例』の提案が市長から未だ行われないうえ、行政が一方的に進めるのはおかしいと、高野議員が一般質問を行いました。

**議会は了承していない**

その後、所管の建設常任委員会で「計画を進めてよいの



高野議員

**不十分な計画で 条例の提案か**

市長は、来年の2月議会までに位置条例の提案を検討して

### 深沢まちづくり 周辺道路の改善を

深沢の事業区域に市役所本庁舎、体育館等公共施設を設置する計画ですが、周辺道路改善計画は三菱電機南門前道路を町屋駅から腰越―大船線に抜ける道路です。

**深沢小付近 抜け道?**

市役所移転についてパブリックコメントでは104通の意見等出されています。「深沢地域に市庁舎がくると、交通量が



吉岡議員

かなり増えるのでは「深沢小前の道路が抜け道になるのでは。通学路なので心配」「鎌倉地域から新市役所に行くのに交通機関を何

回も乗り換える。直通バスを出してほしい」「県道藤沢―鎌倉線が混んでいると水道路が抜け道になる。通学路だが歩道もなく子ども達が交通事故にあうのではと心配」等々。



**道路改善計画 土地買収も含め 検討を**

しかし、市は深沢まちづくり付近の交通の渋滞は問題ないとの認識です。これで市民の心配に配慮されるでしょうか。深沢小学校付近や藤沢―鎌倉線等の交通改善、道路拡幅など実施計画を作成し、改善を進めよう求めました。

### 学校の老朽化対策 まったなし



武野議員

公共施設が老朽化し、複合施設や長寿命化を2053年までに計画があり、市民との協働のまちづくりという視点が重要です。市民と行政が課題を共有する、情報開示、市民が提案ができる環境の整備を求めました。

### かび臭い学校、体育館の水たまり…

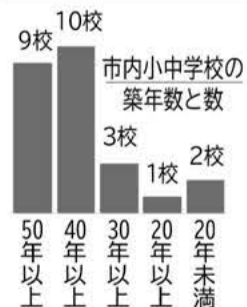
市内には築40年以上の小中学校が19校もあり、23年度中に40年先までの学校施設整備計画を作



小学校の給食調理室

**給食の無償化は 憲法の要請**

学校給食の無償化は、憲法第26条の義務教育の範囲であることが国会答弁で明らか。学校給食法にある「保護者負担」は無償を禁止していません。全国的に加速している給食無償化の前向きな検討を求めました。



# コロナ禍で困窮世帯急増 住宅支援や生活支援の充実を

コロナ禍、物価高に増加しています。騰が市民生活を圧迫しています。国の特住居確保給付金は鎌倉市ではコロナ前の2019年度の1件に対し、20年度は349件、21年度181件と急増しています。市立の小・中学校に就学中の子がいて経済的に困っている家庭に対し、鎌倉市が支給している就学援助金はここ十数年で約2倍の14・53%増を要請しました。

資が滞ったのでは本末転倒」「行政が果たすべき役割は、景気の低迷やコロナ禍を含む自然災害などで社会経済情勢が混乱したときにあって、市民ニーズに適したサービスを安定的に提供することにある」「キャッシュ・フローの著しい増加が、事業と財政のバランスを見極めた自治体運営に取り組んだ結果生じたものではない」との指摘を重く受け止めるべきです。

## 松尾市政 財政調整基金(市の貯金) 最高の61億円

コロナ禍で市税の減収が予想されるとして2021年度は、主な事業が減額・先送りされました。しかし21年度決算では予想とは違い、市税増となり、財政調整基金は13億円積み増し、松尾市長になりバブル期を除き、



### 子どもの居場所

#### 子ども会館 また一つ減り

深沢子ども会館は深沢整備事業地内にあるため、2024年3月で閉館する計画です。小学生は放課後子どもひろばへ、乳幼児は子育て支援センターへ案内するとしていますが、中学生はどうするか検討中だと言います。



異年齢と一緒に遊べる場は、子どもにとってとても大切。子ども会館の閉館には、利用者の声を丁寧に聞き要望をくみ取ってほしいものです。

### 腰越保育園は新しくなるが…

腰越に子育て支援センターが設置され保育園が建て替えられることになり、地元で喜ばれています。

保育園については、公民連携保育園として民間園に変わり、公立と同等の保育をする拠点園として位置づけるといいます。しかし、そのために必要な一時保育、障害児保育等に対する補助はありません。決算特別委員会では、補助金の増額や保育士のスキルを上げるよう全会一致で意見が盛り込まれました。



### 障害児保育

### 監視社会につながる恐れ 導入はやめるべき

鎌倉市は深沢事業用地を念頭に、国の特区事業であるスーパーシティ構想に応募しています。

2021年、国は個人情報保護に関する法律を改悪しました。それに伴い、自治体、企業、大学等が扱っているさまざまな個人情報が膨大な個人情報データベースに集約され、行政が膨大な個人情報を企業等に活用しやすくなる。スーパーシティの導入はやめるべきです。

な個人情報が一元化されます。プライバシーが侵害され、監視社会につながるのではないかと懸念があります。

スーパーシティ構想では各サービスの垣根を越えた「データ連携基盤」

### 議案の採決結果

◎全員賛成 △一部反対 ×全員反対 <議長は採決に加わっていません>

議案番号	議案	会派の名称	共産党 3人	鎌倉 夢みらい 4人	ヴィジョン 4人	公明党 3人	自民党 2人	ネット 2人	かわせみ 2人	デアアップ 2人	無所属 4人
22	子どもの家・子どもひろばの指定管理者の指定		×	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	△
24	令和3年度一般会計決算の認定		×	◎	◎	◎	◎	×	×	◎	×
26	令和3年度国民健康保険事業特別会計決算の認定		×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△
28	令和3年度介護保険事業特別会計決算の認定		×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△
1	安倍晋三元首相の「国葬」実施の撤回を求める意見書		◎	退席	退席	×	×	◎	◎	◎	△

### 安倍元首相の「国葬」撤回求めた意見書可決

議会が提出した安倍元首相の「国葬」実施の撤回を求める意見書は賛成多数で可決しました。議会に先立ち、市内16の市民団体が「国葬」中止を国に求めるよう要望書が議会に出されていました。

また共産党鎌倉市議団は、安倍元首相の「国葬」に、市として弔意に関する取り組みをしないよう、松尾崇市長に申し入れました。